

2022 年度採択団体

2022年度 Let's びぎんプロジェクト採択団体は以下の通りです。

シカから生態系を守れ！～「最後の砦」の草原を後世へ～

プロジェクト概要

現在まで、人間活動に起因した環境変化により生物多様性が著しく失われています。「草原」もそのうちの一つです。草原はその植生特有の動植物を保有する植物群落であり、草原を維持することは生物多様性の維持に欠かせません。

岩手県の北上山地には、かつてウシの放牧によって広大な草原が広がっていました。しかし、多くはウシの飼育のため栄養価の高い西洋種の牧草主体の牧草地に張り替えられてしまいました。その際に元の表土は全て剥がされてしまったため自然草原に生息していた植物はほぼ残っていません。また人工林の造成や管理放棄によるササの繁茂・森林化により草原自体の面積も減少しています。そのため今回対象とする草原は、かつて北上山地に生息していた多様かつ希少な植物が残る、「最後の砦」ともいえる草原なのです。このような現状を知って、北上山地に残る数少ない草原を保護したいと考えプロジェクトを立ちあげました。

今回対象とする草原は 1990 年代から放棄されてほぼ森林化してしまっていたが、2012 年からボランティアによる草原の維持管理作業によってその植生が保たれています。しかし、2021 年からシカの食害が顕著になり、希少なオミナエシがすべて食べられるなどの被害が生じています。今後さらなる被害の拡大が予想され、草原性の植物の絶滅もありえます。そこで対象の草原のうち特に保護が必要である植物種を含む範囲に電気柵を設置し、定期的にメンテナンスを行いながら柵設置効果の測定と、それによる草原の生物多様性保護の実証を行います。

ひとこと

近年、生物多様性の保全で里山が注目されていますが、草原も里山と同様に人の手が入る事でその環境が保たれ、生物多様性が高くなっています。

今回は最近になり県内で増加しているシカの食害から草原の生態系を守るために立ち上げました。

この活動を通じて草原の生物多様性を学び、それを維持し続ける事に繋がっていきたいと考えています。

